



十西小だより

弥富市立十四山西部小学校

学校だより 第8号 令和4年9月2日



2学期を迎えて

2学期が始まり、子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。

しかし、コロナ感染が止まらず、厳しい状態が続いていますので、気を引き締め、感染対策を行っていきます。ご家庭におかれましても、換気、手洗い、うがいなど、対策をよろしくをお願いします。

始業式では、「十西っ子の約束」の確認をしました。「あいさつと返事」「はきものをそろえる」「時間を守る」の3つです。この3つの約束は、心身を整えることにもつながります。心身を整えることで、様々なプラスの効果が生まれます。2学期の子どもたちのさらなる躍進を期待します。

防災の日



昨日9月1日は『防災の日』でした。

9月1日は、関東大震災が発生した日であるとともに、台風シーズンを迎える時期にあたります。現在も2つの台風が日本に近づいてきています。昭和34年9月26日の「伊勢湾台風」では、弥富市も甚大な被害を被りました。こうしたことが契機となって、地震や風水害等に対する心構え等を育成するため、防災の日が創設されたそうです。

災害の発生を未然に防止し、あるいは被害を最小限に止めるには、どうすればよいかということ、みんなが考え、そのための活動をする機会にしてほしいと思います。ぜひ、ご家庭でできる災害対策や緊急時の行動について、お子さんと話し合う機会を設けてください。

また、4月に学校から配付した、水色のプリント、暴風警報時などの「児童・生徒の登下校について」を再度ご確認ください。その他、子どもたちの安全確保のため、下記のことにつきましてもお願いします。

- ・ 雨が降り続き、増水や冠水などで、下校時危険だと思われる場所がある場合は、学校までご連絡ください。
- ・ 登校が危険だと思われる場合は、自宅待機させてください。



以下、「あまつしま伊勢湾台風後記」台風の夜の蟹江中学校より、抜粋したものを紹介します。

・・・渡廊下の辺りをすさまじい勢いで濁流が通り抜ける。小使室に行っていた先生も駆けつける。オートバイを廊下にかけてエンジンをかけ放してライトを照らす。突然のことで避難所もなければ2階もない。速い流れに流されてはいけない。ロープでしばり合うとよいがロープもない。重要書類を少しでも高みに上げようとあせるが、浸水の早さに比べまどろっこい。先程まで安全だった所が今度は危険だ。運動場の方で「助けて！」という悲鳴がする。廊下の柱につかまりながらのぞくと、一人の男が流木につかまりながら、運動場を真一文字に流れてくる。やっとの思いで、学校の建物の中へひっぱりあげる。・・・小使さんの子どもが職員室の方に逃げてきた。宿直室でテレビに紐をつけて一人の先生が背中に背負った。闇の中を電気洗濯機が流れていく。水はすでに床上を刻々と上がってくる。押入れの天井を突き破り、一人一人天井裏に上がった。流木が異様な響きをあげて、ズシン、ズシンとぶつかるたびに校舎全体が身震いするように感じられる。・・・10時頃、「助けて、助けて」と口々に叫ぶ男女の声にも如何とも手の出しようがない。続いて打ち鳴らす太鼓の音、犬の鳴き声、流れてきた屋根の上に数人の人が助けを求めている。吉田先生の姿が見えない。どうしたのか、一同は不安でならない。激浪の来た時までは確かに一緒だったのに。・・・

災害の記憶、忘れてはならないことです。